

セーフコミュニティとして世界で159番目、国内で2番目の認証

安全安心なまちづくりへ

決意を新たに



本市は、8月28日に世界保健機関（WHO）の推奨するセーフコミュニティの認証を受けました。

十和田富士屋ホテル富士屋ランドホールで行われた認証式典には、アジア地域セーフコミュニティ認証センター長のチョ・ジュンピル教授、台湾コミュニティセーフティプロモーションセンター長のパイ・ルー教授（台湾）、

ウォン・シウメイ教授（中国）など海外からの来賓をはじめ、国内外でセーフコミュニティの普及、啓発に取り組む日本セーフティプロモーション学会関係者、セーフコミュニティとわだを実現させる会を中心とした市民など約200人が出席しました。

小山田久市長、三村申吾県知事、チョ・ジュンピルアジア地域セーフコミュニティ認証センター長、同センターコーディネーターの反町吉秀上十三保健所長がセーフコミュニティ認証協定書に署名し、チョセンター長が十和田市の認証取得を宣言しました。

セーフコミュニティの認証を受け、小山田市長は「セーフコミュニティ活動の新たなスタートと位置付け、着実に実行していきたい」と抱負を述べました。

本市のセーフコミュニティの取り組みは、平成17年10月から始まりました。これまで、行政と市民ボランティアが協働し、事故やけがは予防できるということ呼びかけ、セーフコミュニティの基盤をつくりました。

今後は、より多くの人がセーフコミュニティについて関心を持っていただくために、さらに普及啓発に力を入れて安全安心なまちを目指していきます。



世界保健機関から贈られたセーフコミュニティ認証旗を手にする式典参加者

「第3回日本セーフティプロモーション学会

学術大会in十和田」が開催されました

本市のセーフコミュニティの認証を記念し、8月28日・29日に、市民文化センターで第3回日本セーフティプロモーション学会学術大会in十和田が開催されました。大会テーマ「今日も無事でいてほしい・住民参加と部門横断的な協働による事故・自殺・暴力の予防」と題し、2日間にわたり一般口演やシンポジウムなどが行われました。

大会には、住民の安全、安心を目的に事故や暴力、自殺などの予防について学術研究を行う大学教授や支

援活動を行う行政、民間団体の関係者など270人が参加しました。

28日のシンポジウムでは、「部門横断的な協働による自殺総合対策」をテーマに、秋田大学大学院医学系研究科長・秋田大学医学部長の本橋豊さん、横浜市立大学精神医学准教授・診療部長補佐の河西千秋さん、内閣府自殺総合対策推進室参事官の加藤久喜さん、NPO法人自殺対策支援センターライフリンクの清水康之さん、東北町役場保健衛生課主任保健師の新堂府子さんをパネリストに毎年3万人を超える自殺者の現状やそれぞれの取り組みを紹介し、意見交換が行われました。

また、29日の国際シンポジウムでは「アジアにおけるセーフコミュニティ」をテーマに、台湾のパイ・ルー教授、韓国ソウル市ソンパ区保健所長のキム・イングクさん、京都府亀岡市企画政策課長の人見徹さん、神奈川県厚木市セーフコミュニティ担当次長の倉持隆雄さん、本市健康推進課長補佐の長瀬比佐子さんをパネリストに、それぞれの地域の事例発表が行われました。参加者からセーフコミュニティに取り組み国内外の事例について活発な意見や質問が出され、実りの多い大会となりました。



国際シンポジウムでは「アジアにおけるセーフコミュニティ」をテーマに、安全安心なまちづくりを目指す国内外の取り組みが発表されました

セーフコミュニティ認証までの主な経緯

- 平成17年 10月 市役所、医療、福祉関係者が勉強会を開始
- 平成18年 6月 青森県子ども外傷予防総合推進事業を開始
- 平成19年 1月 市民フォーラム「子ども事故予防を減らすために安全安心なまちづくり（セーフコミュニティ）」を目標として開催。市民、有識者などによる「セーフコミュニティとわだを実現させる会」が発足
- 4月 市長が正式にセーフコミュニティ推進を表明
- 9月 日本セーフティプロモーション学会設立総会に参加し、本市の取り組みを発表。セーフコミュニティにおける第一人者レイフ・スバンストローム教授来十。現地視察、講演会実施
- 10月 市役所内にプロジェクトチームを設置
- 11月 アジアセーフコミュニティ学会でセーフコミュニティとわだを実現させる会が本市の取り組みを発表
- 平成20年 3月 市セーフコミュニティ推進協議会を設置
- 5月 市セーフコミュニティ作業部会を設置
- 6月 外傷世帯調査実施（6月16日～7月31日）
- 7月 アジアセーフコミュニティ認証センター専門家招聘。現地視察および講演会を実施
- 8月 公立大学法人青森県立保健大学と本市が連携協定を締結
- 10月 第2回日本セーフティプロモーション学会および第17回国際セーフコミュニティ学会参加
- 平成21年 1月 アジアセーフコミュニティ認証センターへ認証申請書を提出
- 3月 アジアセーフコミュニティ認証センターの審査員による現地審査
- 8月 本市がセーフコミュニティ認証取得